

報道機関各位

『北九州市と高雄市との友好交流協定書』を締結

— 産業構造に共通点を持つ両都市が、次世代産業・人材交流など戦略的連携を加速 —

10月7日、台湾・高雄市において、武内和久北九州市長と陳其邁高雄市長は、「北九州市と高雄市との友好交流協定書」に署名しました。

北九州市と高雄市は、ともに港湾とものづくりを基盤に発展し、現在は半導体、AI、グリーン産業など次世代産業への転換を進める都市という共通点を有しています。

両市は、令和7年7月に「都市間の連携強化に関する協定」を締結して以降、経済、スポーツなどの分野で具体的な交流を積み重ねてきました。また、令和8年熊本地震の際には、高雄市から支援の申し出を受け、八代市に支援物資を届け、その迅速かつ強力な連携が、大きな注目を集めました。

今回の協定は、こうした関係をさらに一段進め、経済・次世代産業をはじめ、教育・人材、スポーツ、文化、観光、防災など、幅広い分野で継続的な連携を進める枠組みを構築するものです。

北九州市では今回の協定を、単なる都市間交流にとどめず、両都市の強みを掛け合わせ、新たなビジネスや人材交流、都市の成長につなげる「戦略的都市連携」として展開していきます。

■ 今後の展開

今後、両都市の産業特性や強みを生かし、①経済・ビジネス、②半導体・AIなど次世代産業、③教育・若者・人材、④スポーツ・文化・観光、⑤防災・都市課題、などの分野で具体的な連携を検討・展開していきます。

「行政間の交流」から「都市と都市の共創」へ。

北九州市は、高雄市との連携を、アジアの成長力を北九州市の企業・人材・市民につなげる新たな都市間連携モデルとして発展させていきます。

■ 協定締結と同時に「市民レベルの交流」も具体化

戦略的な都市連携を行政・企業間だけにとどめず、市民が実感できる交流へ広げる第1弾として、10月8日から「北九州市・高雄市市民相互優待プログラム」を開始します。

両市の市民が相手都市を訪れた際、北九州市内8施設、高雄市内5施設において、入場料やサービス等の優待を受けることができます。

これは観光施設の優待そのものを目的とするものではなく、両都市の市民が互いの都市を訪れ知り、交流する「人の往来」を生み出す仕掛けです。

【実施期間】2026年10月8日(木)～ 2027年12月31日(金)

【北九州市内の実施内容】

優待内容	施設名(8施設)
オリジナルポストカード提供	小倉城、小倉城庭園、北九州市漫画ミュージアム、門司港レトロ展望室、旧門司三井倶楽部、関門海峡ミュージアム、九州鉄道記念館
2,000円以上購入で100円引き	北九州おみやげ館

※高雄市民の方がご利用の際は、身分証(原本)の提示が必要です。

【高雄市内の実施内容】

優待内容	施設名(5施設)
入場無料	打狗英国領事館、鳳儀書院、寿山動物園
高雄市民と同等の優待(優待料金)	紅毛港文化園區
高雄市民と同等の優待 (平日:無料、土日祝:優待料金)	高雄市立美術館

※北九州市民の方がご利用の際は、入場時またはチケット購入時に、マイナンバーカードまたは運転免許証(いずれも原本)の提示が必要です。

武内市長のコメント

高雄市と北九州市は、ともに港湾とものづくりを礎に成長し、今、半導体や AI、グリーン産業など次の時代の産業へ挑戦している都市です。

今回の協定は、単なる「友好」の確認ではありません。互いの強みを掛け合わせ、都市の成長につなげる戦略的なパートナーシップだと考えています。

産業やビジネスだけでなく、若者、スポーツ、文化、防災、そして市民同士へと交流を広げていく。その第一歩として、今回、市民が実際に相手の都市を訪れやすくする仕組みもスタートします。

交流から共創へ。行政から企業・若者・市民へ。高雄市との関係を、北九州市がアジアとともに成長していく具体的な力にしていきます。



武内北九州市長と陳高雄市長



◆高雄市概要

人口: 約 272万人 面積: 約 2,952 km²

主な産業: 金属関連、石油化学、海洋造船、半導体関連など

協定締結式の模様の写真については、お求めに応じてご提供できますので、ご希望の方はお申し付けください。

【問合せ先】

政策局国際政策課

担当係長: 中島 担当課長: 香月

TEL: 093-582-2146

北九州市と高雄市との 友好交流協定書

北九州市と高雄市（以下双方）は、各分野における友好交流を促進し、相互理解と友好互恵を増進するため、共同で本協定を締結する。

- 1 双方は、地域の繁栄と発展に向け、経済、科学技術、スポーツ、教育、文化、観光及び防災など多岐にわたる分野における友好交流を推進し、連携を図る。
- 2 双方は、友好互恵の関係を維持するとともに、友好交流及びその関連事業の推進に、協力して取り組む。
- 3 本協定書は、日本語および台湾繁体字により、それぞれ2通作成し、署名日をもって発効する。

2026 年 10 月 7 日

北九州市長 武内和久

高雄市長 陳其邁

